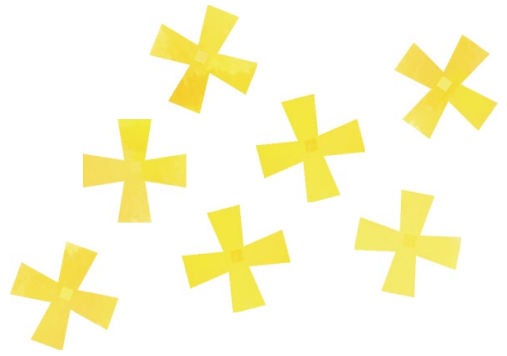


菜の花

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER



No. **39**
平成 29 年 12 月



第 70 回指宿温泉まつり

当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。

たくさん黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということを表現しています。

緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。



contents

- P.2 院長あいさつ
- P.3 第5回指宿医療センター市民公開講座
「家庭の医学～身近な病気の予防と対策～」
- P.4-5 電子カルテ導入の黒衣（くろご）
- P.6 救急業務総合支援システム（ATAS）導入
- P.7 医療安全研修会を開催しました
- P.8 第70回指宿温泉祭りにハッパ踊りに参加しました
- P.9 指宿医療センター ボウリング大会！
- P.10 ガーデニング
- P.11 採用者紹介
- P.12 指宿 菜の花通信
- P.12 外来診療担当医一覧

理念

患者さまにやさしく、

地域に信頼される

良質な医療の提供をめざします。

運営方針

- 1 がん診療の治療の向上をめざします。
- 2 成育医療の充実をめざします。
- 3 救急医療の充実をめざします。
- 4 脳血管障害の治療の向上をめざします。
- 5 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療をめざします。



院長あいさつ



院長
鹿島 克郎

みなさん、病院正面（外来のバス停前）の花壇がきれいになったことをご存知ですか。ほとんどの職員が病院裏から出入りするために、病院玄関前の花壇が悲しい状況になっていても誰も気づかず放置されていました。しかし、外来受診される患者さんたちの中には残念な思いを抱きながら病院を後にする方もいらっしゃったと思います。

新病棟の渡り廊下前に花壇が誕生したことはみなさんご存じでしょう。職員だけでなくリハビリに往復する患者さんや患者さんのご家族の心の癒しになっていることは間違いありません。このような病院環境の改善は患者さんの精神面への好影響だけでなく、病気の回復にも寄与することがわかっています。指宿医療センターが理想の病院へ一歩ずつ近づいていることを実感する出来事でした。

さて、この二つの花壇の功労者をご紹介します。バス停前の花壇は、4F 師長の妹さんがデザ

インして作っていただきました。ガーデナーである彼女は、テラスガーデン部門でハウステンボス賞を貰った実力者です。雨の日に姉妹と職場の方の3人ですてきな花壇を作ってくれました。また、ボイラー技士の3人が固い土を事前に耕してくれていましたので作業が大変はかどったそうです。

渡り廊下前の花壇は、みなさんご存知のように臨床工学技士の2人が中心となり、庶務の方も手伝ってくれたようです。彼らはガーデニングが好きだと聞いていましたが、デザイン力や作業手際はプロ並みで感服しました。これから菜の花や芝さくらが咲き誇り、皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。



バス停前



渡り廊下前

第5回指宿医療センター市民公開講座 「家庭の医学～身近な病気の予防と対策～」



平成29年11月26日、指宿市民会館大ホールにおきまして、第5回指宿医療センター市民公開講座が開催されました。5回目となる今回は「家庭の医学」をテーマに3名の医師と2名の認定看護師が講演を行いました。

講演1 「意外と身近な肝臓病」

1

講師：消化器科医長 大重 彰彦



C型肝炎の治療法や治療薬についての解説、またインターフェロンフリーという新しい治療法について紹介を行いました。またアルコールの摂取量についても適度な摂取を心がけるよう呼びかけました。



講演2 「脳梗塞をひきおこす不整脈について」

2

講師：循環器科部長 川畑 和代



心房細動により発生する血栓が脳梗塞をひきおこすリスクがあることを解説し、生活習慣の改善や定期的な検診について呼びかけました。



講演3 「家庭でできる創の管理」

3

講師：外科部長 宮園 太志



傷が治癒していく過程をわかりやすく解説し、外傷や火傷、ムカデに咬まれた時などの対処法について講義しました。消毒薬は体を治そうとする細胞まで殺してしまうので使用しない方がよいという説明に、来場者から驚きの声も上がりました。



講演4 「その症状つらくないですか？－尿失禁の対策－」

4

講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 松永 真理亜



尿失禁の種類やそのメカニズムについて解説し、治療法や予防体操、ケア用品の選び方について講義しました。



講演5 「楽しく一緒に認知症予防」

5

講師：認知症看護認定看護師 木佐貴 真子



認知症の種類や老化による物忘れとの違いについて解説し、予防のために禁煙や運動などの生活習慣の改善の必要性について講義しました。ご来場者の皆さんと一緒に、頭と体を同時に使う予防体操も実践しました。



総合司会の相星統括診療部長は開演前の前説から質疑応答まで、場内を所狭しと駆け回り、軽快なトークで会場を沸かせました。

電子カルテ導入の黒衣（くろご）



システムエンジニア
森本 将司

平成 26 年 7 月より、システムエンジニアとして勤務している森本と申します。

歌舞伎の世界では「黒装束を見つけ、役者の介添や小道具を操作する係り」のことを「黒衣（くろご）」と言います。よく聞く「黒子（くろこ）」は、誤用が慣用化して一般に定着してしまった言葉だそうです。さて、そんな「電子カルテ導入の黒衣の役目」を背負った立場として、「電子カルテ導入までの経緯」を語りしたいと思います。

入職当時の当院では「紙カルテ」で運用を行っており、オーダリングシステム（各診

療科の予約状況や、部門間の依頼指示の管理を行うシステム）を使用していました。

翌月には、電子カルテシステムを導入する方針が上層部で決定し、入札参加予定の複数業者との打ち合わせが始まりました。当時は稼働中のシステム概要も、まだ把握仕切れていない中、私自身も勉強をしながら説明しなければならない状況に四苦八苦し覚えがあります。

電子カルテの打ち合わせが進む中、平成 27 年 5 月には、日本年金機構の個人情報漏洩事件が大きく報道されました。国立病院機構としても、セキュリティ対策方針を厳しくせざるを得ず、電子カルテ導入にも深く影響することになります。この事件の煽りを受け、当院ではネットワークを分断してセキュリティを強化する対策を行いました。

同時期、長年使用してきたオーダリングシステムのサーバ（ハードウェア）の「メーカー修理対応期間」を超えてしまい、故障した場合に部品が手に入らない状況になることが発覚します。このため「電子カルテ導入を予定より早めるか」、「その他の対



サーバールーム 電子カルテサーバ関連ラック

策を講じるか」の選択を迫られました。

新病棟との兼ね合いや期間・費用面の都合により、電子カルテの早期導入は行わず、平成27年12月に、仮想サーバに載せ替える対応を行いました。(サーバハードウェアを入れ替えると、クライアントを含めた全てのシステムを入れ替える必要があった為、仮想化技術を採用し、コスト削減とリスクヘッジを実現しました)

この頃から、事務所内での電子カルテ導入に関する資料の作成や、入札準備などの作業が増え、複数業者との打ち合わせも頻繁になります。また、平成28年1月頃から、入札仕様書の作成に取り掛かり、多くの時間を仕様書作成に費やしました。

平成28年3月には、外来棟、(旧)病棟、新病棟、電子カルテのすべてを考慮したネットワークの設計に追われます。翌月には新病棟の工事も始まりました。

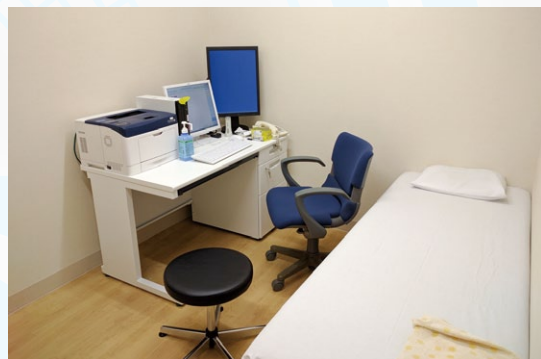
平成28年7月には入札広告が出され、9月に導入業者が確定。10月のキックオフを皮切りに、医師、看護師、技師、事務のスタッフが一丸となって、本格的に電子カルテ導入の話を進められる状況になります。それからは業者主体で導入作業は進み、私自身は、業者と院内の調整や業者対応外の作業、マスタ整備などに追われました。

そして、平成29年6月にオーダーリングシステムから電子カルテシステムへの切り替えを行い、無事「稼動」となりました。

決してスムーズだったとは言えませんが、私にとって導入だけで丸3年がかりのプロジェクトでした。ただ、「導入」は終わりましたが、これから「運用」が始まります。本当に大変なのはここからです。

患者さんから見える変化は、「病棟」が新しくなった事と、正面入口に「予約受付機(自動再来受付機)」が設置された事、「受付の流れ」や「受付票」が変わった、というぐらいでしかないかもしれません。ですが、電子カルテシステムの導入によって、院内の情報共有がスムーズになり、カルテ記載内容の統一化や、自動チェックによるミスの防止、受付・会計の時間短縮(紙カルテ検索不要)などに繋がり、患者さんにとっては「より良い診療が受けられるようになった」と言えるのではないのでしょうか。

今後もシステムを通じて、患者さんのことはもちろん、医師や看護師の作業効率化や、安全性、セキュリティ等を意識しながら、病院運営の黒衣として地域貢献に勤めて参ります。



新病棟 救急外来診察室 クライアント端末

救急業務総合支援システム(ATAS) 導入

平成 29 年 9 月より指宿南九州消防組合の依頼を受け、救急業務総合支援システム(ATAS)を導入しました。

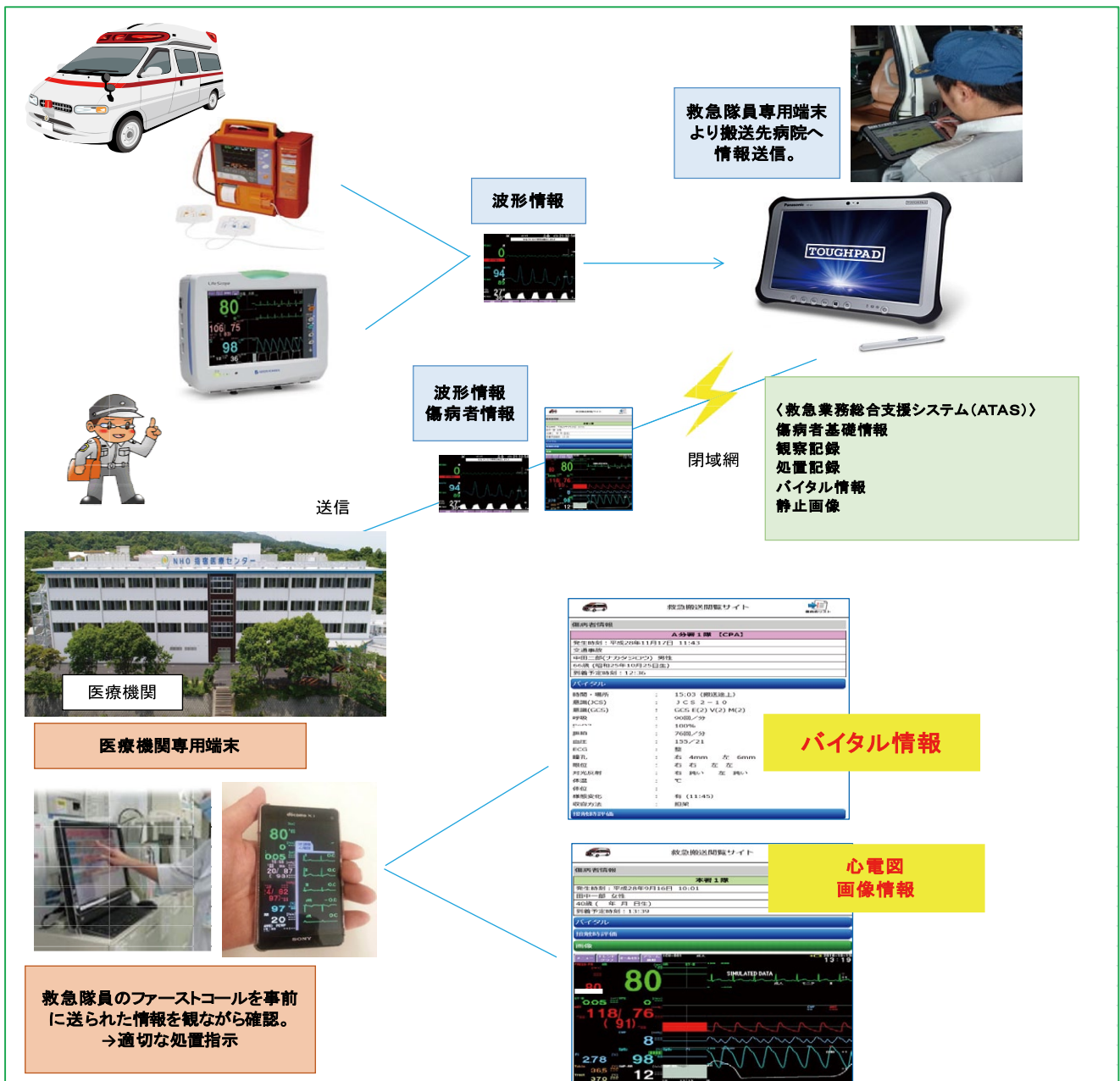
救急業務総合支援システム(ATAS)とは、傷病者基礎情報、バイタル情報、心電図画像情報、現場写真等を救急車が到着する前に救急隊から医療機関へ正確で迅速な情報伝達と救急車到着時の傷病者引き継ぎ及びその後のスムーズな処置への移行に役立つシステムです。

このシステムのメリットは、今まで電話連絡だけでは伝える事のできなかつた情報や心電図画像のような随時変化していく情報を救急車到着までに確認ができ、必要な処置の指示を救急隊員へ出せることです。

当院は、鹿児島県で初めて救急業務総合支援システム(ATAS)を導入した病院です。このシステムを活用し、救急医療への貢献をしていきたいと思ひます。



契約係長
加来 翔平



医療安全研修会を開催しました

医療安全管理係長 古川 園恵

第1回



10月4日、鹿児島県赤十字血液センター学術・品質情報課新留和海先生においていただき「**輸血の管理について**」の研修会を開催しました。医療安全研修会は、医療安全に関する知識と意識の向上のために行うもので全職員を対象にしており、看護部のみでなく多職種の職員の参加がありました。

輸血は「血液」という臓器の移植です。間違いは重大事故と繋がりますので、正しい知識と技術のもとに取扱っていく必要があります。今回は輸血用血液製剤の取扱い、輸血の実施にあたっての確認事項、輸血の副作用と感染症、輸血実施時の間違いの防止について学びました。副作用の症状毎の発現時間、輸血の誤りの事例、緊急時の適合血については参加者からの反応が大きかったように思います。今回の学びを基に、輸血実施時の安全向上を図っていきたいと考えます。

輸血は善意の提供により作られた医薬品です。有限で貴重なものですから大切に取扱い、患者さんにとってより有益で安全な医療の提供につなげていきたいと思えます。

第2回

11月20日、鹿児島大学大学院精神機能病学准教授中村雅之先生においていただき、「**不眠症の治療〜依存・せん妄・転倒を避けるために〜**」というテーマで講演会を行いました。今回は近隣の病院や施設等の皆様にも案内を行いました。今回はから33名、医師・薬剤師・看護師のみでなく放射線科・リハビリ科・検査科・事務等各部門からの参加がありました。

今回の講演の中では、不眠時にすぐに睡眠剤を使用するのではなく、患者の状況を知り、まずは非薬物療法を試みることで、薬剤を使用する際はその特徴を知り適切に使用していく必要があることを学びました。特に睡眠ゲートを活用することで服薬の効果的なタイミングを図ることや薬剤内服による転倒との関連は興味深く、今後、患者さんへのケアに活用していききたいと考えています。



第70回指宿温泉祭りにて ハンヤ踊りに参加しました

指宿温泉祭りは「温泉」という大地の恵みに感謝する、戦後まもなく始まった歴史ある祭りです。第70回目となる今年は9月23日(土)および24日(日)に開催され、当院からは職員や保育所の園児たち総勢61名が23日(土)のハンヤ踊りに参加しました。



指宿駅 本部ステージ前

ハンヤ踊りの基本の振り付けは、湯けむりやそよ風をイメージした手の動きが特徴的で、短い振り付けを繰り返し踊ります。簡単に見えるようで、実際に踊ってみると手と足の動きを合わせるのが意外と難しく、開催までに数回の練習会を設けて特訓しました。

前週に台風18号の直撃を受け、天候が不安定な指宿市でしたが、本番当日はなんとか持ち堪え、たくさんの人出で賑わう中、揃いの赤い法被に身を包んだ指宿医療センターの踊り連が指宿駅前通りから商店街を踊り歩きました。踊りは30分×2回と、私を始め、普段運動不足の面々にはなかなかハードでしたが、沿道からの声援や、仮装や踊りのアレンジを施した元気いっぱいの他の踊り連に励まされながらなんとか踊り抜くことができました。終了後は達成感をともなった心地よい疲労に包

まれ、素晴らしい思い出となりました。参加いただいた皆様、おつかれさまでした。



駅前商店街



経営企画係長
入江 遼太

指宿医療センター ボウリング大会!

10月26日(木)にいわさきホテルにてボウリング大会を開催しました。

毎年開催しているということで、僕自身初めて参加するため楽しみでした。

今年の参加人数は52名。多くの方が参加してくださいました。今年度転勤してきたばかりの私が幹事に任され、もしかしたら今年は参加者が少なかったでしょうか…みたいな不安も多少ありましたが、こんなに多くの方が出席してくれるとは正直驚きでした。

1レーン、4~5名で個人戦かつチーム対抗戦。ボウリングが上手でストライクを連発される方やなかなかうまくいかずガーターと色々な方がいましたが、ストライク・スペアが出れば皆で声高らかに喜んでハイタッチ、ガーターでもがんばれ!次こそは!と応援して一致団結して頑張り、そして楽しめる姿にはとても微笑ましく思いました。

こうやって色々な部署の方が集まって協力し合い楽しむ機会はなかなかないため、貴重な時間を過ごすことができたんじゃないかなと思います。

その後の打ち上げでも多くの方に参加して頂き、普段話すことのできない方ともゆっくり呑みながら色んなことを語り、時間を忘れて楽しむことができました。

ボウリング大会そして打ち上げ共々とても大盛況でした。

また来年、このような会が開催できればいいなと思います。

お忙しい中、参加して下さりありがとうございました。



臨床検査科
井手 陽大



ボウリング参加者



ガーデニング



平成29年6月3日に新病棟がオープンしました。新病棟と外来棟は渡り廊下でつながっており、その廊下の壁の片側はガラス張りになっているためとてもおしゃれな造りとなっています。

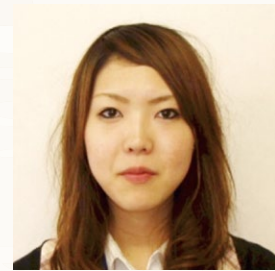
しかしガラス張りの廊下から見た景色の一角には雑草が広がっていました。患者サービスの一環として、その一角に花壇を作ろうということになり有志を集い、臨床工学技士のおふたりを中心に花壇の作成が始まりました。

まず雑草の除去から始まり、防草シートを敷きその上に砂利を敷き詰め、レンガで花壇の枠組みを作成し、球根や苗を植えていきました。

花の種類は額アジサイ、アガパンサス、ユリ、芝桜、そして指宿医療センターのロゴのモチーフにもなっている菜の花です。今後、ミニバラも植える予定としております。

ソーラーガーデンライトも何本か設置しておりますので、夜間廊下を歩いたときは昼間とは違った景色が広がっております。

患者様・患者様のご家族・そして職員が廊下を通る時に花壇を見て少しでも心が癒されればと思い、花が満開になることを心待ちにしているところです。



庶務係
中村 めぐみ



Before



After 1



After 2

NEW FACE

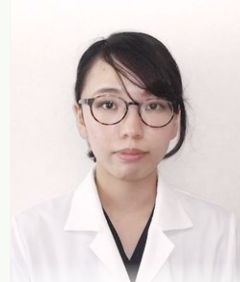
採用者紹介



すが の たか ひろ
菅 野 貴 洋

採 用 11月1日
職 名 臨床研修医
配 置 先 医局

九州医療センターから参りました。11月、12月の2ヶ月間で、地域医療のすばらしさや大変さをしっかりと吸収させて頂きます。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



き やま ゆう
木 山 優

採 用 11月1日
職 名 臨床研修医
配 置 先 医局

鹿児島医療センターから参りました。1ヶ月間、こちらの眼科で勉強させていただきます。趣味は美味しいものを食べ歩くことです。短い間ではありますが、指宿の美味しいものも含め、色々教えていただけると幸いです。よろしくお願い致します。



ゆき まる り か
雪 丸 利 佳

採 用 10月2日
職 名 看護師(非常勤職員)
配 置 先 地域医療連携室

地域連携室の配属となりました。経験のない職種なので即戦力とはなりません、病院と地域をつなげていけるようにコーディネートしていきたいと思っております。ご指導宜しくお願い致します。



うえ さこ たか よ
上 迫 貴 代

採 用 11月1日
職 名 事務助手(非常勤職員)
配 置 先 栄養管理室

初めての職種で不安もありますが、一生懸命がんばっていきたくと思っています。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。



ふる との よう こ
古 殿 陽 子

採 用 11月1日
職 名 医師事務補助(非常勤職員)
配 置 先 医局

医師事務補助のお仕事は、初めてで不安なところもありますが、早く慣れるよう努力したいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っております、どうぞ宜しくお願い致します。



むこ よし ゆ い
向 吉 由 衣

採 用 10月2日
職 名 医事係(非常勤職員)
配 置 先 企画課医事班

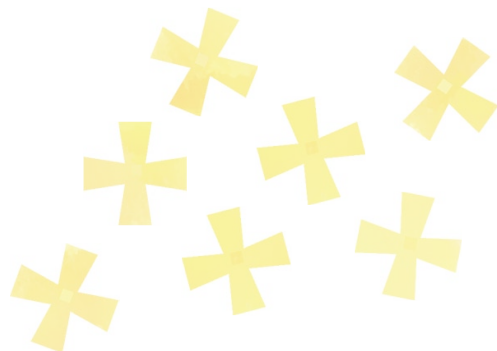
はじめまして。向吉由衣と申します。わからないことばかりで、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願い致します。



おり た こう へい
折 田 公 平

採 用 10月2日
職 名 システムエンジニア
電カル担当

10月より、電カル担当になりました折田と申します。医療関係の現場は初めてになりますのでまだ分からない事ばかりですが少しでも皆様のお役に立てる様頑張りますので、よろしくお願い致します。





田舎医者の流儀 (75)・・・100号となりました

指宿「菜の花通信」は、平成21年10月に第1号を出しました。私が総合内科医（非常勤、週3日）として赴任した年（平成21年4月）、当時の田中院長にお願いをして病院のHPに乗っけて頂いたものです。それから、約8年で100号に到達しました、大体月一回位の心積もりでしたので、あまり怠けないでやってきたようです。

私はこの年から、二つの新しい仕事を始めました。医者としてはそれまで循環器病の患者さんしか診ていませんでしたが、総合内科を担当するようになりました。もう一つは鹿児島県の初期臨床研修医の確保の仕事です。二つとも容易ではなかったため、真剣に向き合わざるを得ませんでした。しかし、新しい分野なので私にとっては日々新しい発見があり、それをネタに雑文を書き続けたとも言えます。

総合内科にはいろいろの訴えの患者さんがみえます。その訴えに耳を澄まして聴いていると、思わぬ病気に巡り合えます。東南アジアを一年間旅行した青年が一日一回高熱を出すと来院、結果的には「マラリア」でした。その後、なんで「マラリア」という病気を考えたのかと云われましたが、彼の生活、行動に耳を傾けたら、その診断にたどり着いたという事です。「ガイドライン」も大事ですが、向き合って話をよく聞く事が前提になるように思います。

初期研修医確保の仕事も、最初はなかなか思うような結果が出ませんでした。本県の半減した研修医をどうしたら回復できるのか、呻吟する日々でした。事務局を担当する県庁の面々（地域医療整備課）が発案し、「出前セミナー」と称して本県出身の医学生に直接話をしに行く事を始めました。東京、名古屋、高知、福岡、沖縄などに出かけて、飯を食いながら鹿児島県の研修病院の宣伝をして歩きました。直接会って話をするのは大変効果的で、そんな努力が実って、今年は109名が本県で研修することになり、この制度が始まる前の数にやっと復帰できました。

それにしても、最近の「北朝鮮」の核、ミサイル開発は留まる事を知りません。多くの有為の人材がそれにかかわらされています。わが国もかつて細菌学者が「細菌爆弾」の開発に動員され、忌まわしい人体実験までやられました。その時代、国策に反する事は許されず、「反戦主義者なること通告申し上げます」と言った結核医・結核菌の研究者 末永敏事は捕えられ、不遇のうちに終戦前に亡くなっています（森永玲著『反戦主義者なること通告申し上げます』花伝社、2017年）。有為の人材が人の幸せのために、その能力を発揮することを許されない社会は悲しいと思います。



外来診療担当医一覧

平成29年12月1日現在

診療科等	月	火	水	木	金	備考
循環器科	午前 鹿島	南	鹿島	川畑南/園田	鹿島南	
総合診療内科	午前 園田	中村花田	中村	花田	中村	
脳血管内科 神経内科	午前 (休診)	(休診)	(休診)	(休診)	(休診)	
消化器科	午前 小野	千堂	大重	小野	大重堂	
小児科	午前 相星	荒相武星	相星	相星	荒相武星	火曜日の相星医師は受付が9時30分までとなります。 金曜日の相星医師は再診のみ診察となります。
	午後 外来 予防接種 健診	関	関	関	関	午後診療受付 14時～16時 月曜・水曜・金曜日は午後診療受付 15～16時 1ヶ月健診（毎週月曜・金曜日：要予約）受付 14時～14時30分 予防接種（毎週月曜・水曜・金曜日：要予約）受付 13時30分～14時30分
外科	午前 (手術日)	宮原 園口	宮原 園口	(手術日)	宮原 園口	金曜は予約患者のみの診察となります。
泌尿器科	午前 水鶴 間田	(手術日)	水鶴 間田	水鶴 間田	水鶴 間田	火曜日は手術日のため休診となります。
産婦人科	午前 恒松 大塚	恒松 大塚	(手術日)	恒松 大塚	恒松 大塚	1ヶ月健診（月・金曜日：要予約）診療受付 14時～
	午後 恒松 大塚	恒松 大塚 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	恒松 大塚 助産師 母乳外来	恒松 大塚	午後診療受付（水曜日以外）14時～15時（再診のみ） 母乳外来（毎週火・木曜日） 母親学級（毎月第2・3水曜日）
眼科	午前 尾辻	尾辻	尾辻	尾辻	尾辻	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。 木曜・金曜の午後は特殊外来（視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など）
	午後 (手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	
専門外来	午前 呼吸器内科			呼吸器外科		呼吸器内科 毎週月曜日 予約制 もの忘れ外来 毎週水曜日 予約制（14時～16時） 小児循環器 毎週金曜日 予約制（14時～16時） 呼吸器外科 毎月第2・4木曜日 予約制（午前診療のみ） 小児慢性疾患 毎週月曜・水曜・木曜日 予約制（14時～16時） 遺伝カウンセリング外来 原則 火曜・木曜（要予約 15～16時）
	午後 小児慢性疾患外来	遺伝カウンセリング	もの忘れ外来	遺伝カウンセリング	小児循環器	
内視鏡検査	大重 小野	大重 小野	小野 千堂	藤井 大重	赤崎 小野	火曜日と水曜日の坂井技師の検査は、10時から行います。 木曜日の千堂先生の検査は、第2と第4の週に行います。
緩和ケア外来	要予約					随時予約受付

- 受付時間 午前8時30分～午前11時00分
- 診療時間 午前8時30分～午後17時15分
- 休診日 土・日・祝祭日・年末年始 ※急患の方は、随時受付いたします。
- 電話番号 0993-22-2231

面会時間 平日は午後2時から8時まで
土曜、日曜及び祝祭日は
午前11時から午後8時まで

発行：独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地
TEL：0993-22-2231（代表）
FAX：0993-22-2772（地域医療連携室）
URL：http://ibusukimc.jp/
印刷：陽文社印刷株式会社